

ウミガメ採卵会をしたよ！

平成26年6月20日(金)

▼高知海岸では5月下旬よりアカウミガメの上陸・産卵が見られます。
真夜中に海からあがって卵を産み、早朝に海へ帰ります。
朝早くの砂浜で、ウミガメの残した足跡を見ることが出来ます。

▼戸原工区で春野西小学校・春野東小学校の4年生が採卵会を開催しました。ウミガメ保護活動をしている春野の自然を守る会の熊沢さんが採卵します。



(春野西小学校)



(春野東小学校)

▼春野西小学校では高知県の許可のもと、アカウミガメを約1年間飼育してきました。3匹のアカウミガメとは今日でお別れです。これからカリフォルニアに行き、大きくなって高知海岸に戻ってきてほしい！という願いをこめてみんなで放流します。



▼採卵会の前にみんなで海岸清掃をしてくれました。
ゴミのない海岸はたくさんのウミガメが産卵に来てくれると思います。

(春野西小学校)



(春野東小学校)



(春野西小学校)

卵が見つかりとみんなで数を数えます。
平均すると直径40mm、重さも35gを超える大きい卵でした。
1人1人直接卵に触って感触を確かめます。



(春野東小学校)

足跡の先にウミガメが卵を産んだと思われる
巣穴があります。ここを熊沢さんが掘ってくれます。

卵の持ち方も教えてもらいました。
「産まれたばかりの卵の殻は柔らかいので、
優しく持ってあげてください。」





(春野西小学校)



(春野東小学校)

▼春野西小学校は121個、春野東小学校は116個の卵を採卵しました。
採卵した卵は小学校のふ化場に移設します。約2ヶ月くらいで卵はふ化します。
4年生のみなさんはこれから、ふ化場の水やりや温度計測など大変ですが、
産まれてきた子がめを夏休みに一緒に放流しましょう。
お世話よろしくお願ひします。